

# 農業



平成30年7月号  
会誌 No. 1640

## 目次

### 巻頭言

大日本農会の会長就任に当たって……………吉田 岳志 3

### 論 壇

農業競争力強化に向けた科学技術イノベーションの推進……………久間 和生 4

### 農業懇話会

集落営農による地域づくり……………楠本 雅弘 6

### 平成農業技術史研究会

第9回平成農業技術史研究会－土地基盤分野における技術発達史－  
話題提供……………岩崎 和巳 22

### 地域セミナー 秋田

新時代の法人経営戦略を学ぶ…………… 39

－フロンティア法人の挑戦－

#### 基調講演

農業のビジネス・スピリッツを語ろう……………斎藤 潔 39

実践報告…………… 46

総括コメント……………中村 勝則 57

## 農業・農村の現場から

- 世界に認められた阿蘇の草原・農業を次の千年に……………石野 慎祐 59  
－阿蘇世界農業遺産の取組について－

## 世界の農業は今

- インドネシアにおける農企業の展開……………米倉 等 64  
－農産加工会社と企業的農家の事例－

## 私の経営と志

- 阿蘇の伝統野菜の新しい価値づくり……………佐藤 智香 70

## 統計情報

- 平成29年度食料・農林水産業・農山漁村に関する意向調査…………… 72  
－農家における男女共同参画に関する意向調査結果－

## 農政情報

- 大日本農会だより…………… 74

## ミニ情報

- 三会堂ビルロビーホールに「足踏み脱穀機」を展示…………… 38

### 表紙写真説明

### バレイショ「メイクイーン」の灌水（北海道河西郡芽室町）

北海道東部に広がる十勝平野では、冷涼な気候と広大な農地を活かし、コムギやバレイショ、テンサイ等を中心とする大規模畑作農業が展開されている。その十勝平野のほぼ中央部に位置する芽室町は国内有数のバレイショ産地として知られ、高品質なバレイショ生産に取り組んでいる。

芽室町の一部では畑地灌漑施設が整備されており、バレイショについては、茎葉伸長の促進やそうか病の発生抑制、干ばつの影響緩和等を目的に、土壌水分に応じた灌水が実施される。

この時期、旺盛に生育したバレイショ畑には白色や薄紫色の花が咲き誇り、リールマシンによる散水が夏の日差しを浴びて虹を浮かび上がらせる。そして、黄色く色づき始めるコムギ畑、緑深まるテンサイ畑とともにパッチワークの風景が形成され、十勝は最も色鮮やかな季節を迎える。

（写真：芽室町生産者 栗野 秀明，文：(国研)農研機構北海道農業研究センター（現農林水産省）若林 勝史）